



「令和 5 年度リーダーシップキャンプ」

～あなたの未来を創る第一歩～



1. 目的

地球環境の変化、新型コロナの世界的な拡大、ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻、地震など災害、人工知能の急速な進展など社会の変化は加速し、今後、未来はどのように変わっていくのか、予測が付きません。

学生のみなさんには、どんな困難な時代が来ようとも、夢をもって、自分を信じて、未来に向けて前向きに挑戦してほしいと願っています。学園メッセージとして掲げている『「モラリスト×エキスパート」を育む。』を体現し、予測困難な時代、どんな環境においても“答えのない問題”にも、新しい発想や自らの可能性を発見できる人材を育成することを目的として、令和 3 年度に本プログラムを立ち上げ、学生の人気を集め、コロナ禍を乗り越え、令和 4 年度、大きな成果を得て、好評のうちに終えることができました。参加学生の持続してほしいとの要望もあり、令和 5 年度も実施することになりました。

今回のテーマは、東川町での体験を通じた「自己実現」と「町への提言」です。

このプログラムの特徴は一つの学部や学科内で実施するのではなく、**学部横断型**であること、そして東川町では**自分が学びたいことを自ら企画し、現場体験**ができ、さらに**留学生や他大学の学生とも交流**ができることです。4 年間の学生生活は長いようですが、人生の中で考えるとあっという間です。ぜひこの貴重なプログラムに応募し、新たな体験をしてみませんか。

2. 本プログラムでの学び

北海道東川町での合宿研修（以下、リーダーシップキャンプ）、事前・事後学習を通じて、自己実現だけでなく、社会への認識も深め、課題解決の実践の場を体験できます。

さらに、体験レポートの提出や報告書の作成、報告会を行うことにより、学部を横断した仲間と知見を共有できる貴重な機会になります。※計 10 回程度の事前・事後学習を予定しています。

★このプログラムでは・・・

- ・自分が考える体験、時代の課題に挑戦しているリーダーから人生観・世界観を学べます
- ・多彩で多様な人たちの熱意ある実践を目の当たりにできます
- ・全国や世界から注目される、新しい自治体経営、地方創生先進地、北海道東川町を体感できます
(東川町公式サイト：<https://town.higashikawa.hokkaido.jp>) ※東川町に関する Web 情報は数多くありますので、調べてみてください)
- ・大学での授業で知力・学力をつけるだけでなく、多様な人たちとみなさん自身が繋がることで、新しい発想、自らの可能性を発見できる機会を提供します
- ・移住者や起業家、新しい生き方に挑戦している人も紹介できます
- ・R-body のワークショップに参加することで、毎日の体調管理ができます

★以下のような参加者を求めています

- ・教室での授業の枠から飛び出してみたい人
- ・新しいことに挑戦する気概のある人
- ・地方自治体（自治体、公務員、教育）に興味がある人
- ・起業家（開拓者）に興味ある人
- ・農業やモノづくりに興味がある人
- ・さまざまな人に出会い、人脈を広げたい人
- ・「地域おこし協力隊」や「地域活性化企業人」に興味ある人
- ・社会貢献をしたい人

ポジティブで、やる気のある学生の参加を期待しています。このプログラムに参加すれば、就職にも役立つような貴重な経験をすることができます☆

3. 募集概要

募集期間	<u>令和5年4月27日（木）～5月15日（月）17:00</u>
募集対象	立正大学に所属する正規学部生 2年生、3年生 ※学部不問
募集人数	各学部2名まで、最大18名
実施期間	<p><u>東川町でのキャンプ 令和5年9月4日（月）～9月10日（日）</u></p> <p>※上記日程の他に、計10回程度の事前・事後学習あり</p> <p>※第1回事前学習</p> <p>■日時：令和5年6月7日（水）18:00～19:30（予定）</p> <p>■場所：品川キャンパス（ハイブリッド方式）※オンライン出席可</p> <p>■内容：ガイダンス、参加学生顔合わせ、東川町の紹介</p>
参加費	<p>実費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通費（自宅－羽田空港－旭川空港までの往復交通費、その他現地での移動にかかる費用）＋宿泊費（18,000円） ・大学より <u>2万円の助成金もしくは航空券の半額相当分（6月15日時点）</u> を支給いたします。※助成金の額を増額いたしました（当初1万円） ・東川町滞在中の食事代は、東川町の支援で、学生の負担はありません。 ・自転車は東川町の支援により、無料で貸し出します。 <p>※通学や企業訪問等、研修に係る都内への移動交通費は自費となります。</p>

	※「注意事項」に費用に関して詳細を記載しています。
応募条件	<p>・下記の条件を満たすこと</p> <p>①次の単位数を取得していること</p> <p>※2年生：30単位以上 3年生：60単位以上</p> <p>②原則として、全てのプログラムに参加が可能なこと</p>
応募方法	<p>下記のURL（Microsoft Forms）又は右のQRコードより申請してください。</p> <p>→https://forms.office.com/r/aVTPmC1hmJ</p> <p>以下の情報を入力及び添付してください。</p> <p>・基本情報</p> <p>○参加動機（500字程度）</p> <p>今回のテーマは、東川町での体験を通じた「自己実現」と「町への提言」です。</p> <p>○プログラムで身につけたいこと、学びたいこと、目標など（300字以上）</p> <p>・GPA履歴情報・単位修得状況（ポータルサイトでのプロフィールより出力し、PDFにして添付）</p> <p>※必ず取得単位数とGPAがわかるページをご提出ください。</p> <p>・1期時間割表（ポータルサイトの「プロフィール」-「My時間割検索」よりPDF化してお送りください。）</p>
選考方法と 合否連絡	<p>参加動機や成績を参考に選考の上、5月27日（土）頃、研究推進・地域連携課より学生個別にメールにて合否の連絡をします。</p>
事前説明会 （オンライン開催）	<p>本プログラム実施にあたり、事前の説明会を3回開催いたします。質問なども受け付けますので、気軽にお申し込みください。また、説明会に参加が難しい方は、研究推進・地域連携課にお問い合わせください。（3回とも同様の内容となっております。）</p> <p>■日時：（第1回）令和5年5月2日（火）10：00～10：30（終了） （第2回）令和5年5月8日（月）15：00～15：30（終了） （第3回）令和5年5月12日（金）18：00～18：30</p> <p>■場所：オンライン（Teams） PCもしくはスマホをご準備ください。</p> <p>■対象：応募を検討している2～3年生</p>

	<p>■参加方法：下記の ID・パスワードの入力、もしくは URL をクリックしてご参加ください。</p> <p>【会議 ID】 465 166 843 03 【パスコード】 MZQNEz</p> <p>https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3a63489be1a39a44ac92720ec70e6b5705%40thread.tacv2/1683013192941?context=%7b%22Tid%22%3a%221bea9be4-042d-4b76-b51f-e47ae9acdbdb%22%2c%22Oid%22%3a%22634a5881-3ec7-4caf-a1e6-2f1315d7e037%22%7d</p> <p>録画配信も行いますので上記日程に参加できない場合にこちらの Forms (https://forms.office.com/r/1hqg0dFZCn) よりお申し込みください。</p>
<p>注意事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般の授業とは異なり、成績評価・単位認定等はありません。 2. キャンプは、事前・事後学習の実施は対面・オンラインのハイブリッド形式で実施します。活動地は品川キャンパス、現場体験は東川町となります。 3. 参加にかかる費用（現地までの往復交通費、宿泊費、オンラインでの活動に必要な端末の購入費・通信費等）は参加者による実費負担ですが、「3. 募集概要」の参加費欄記載の通り大学から補助がございます。 <p>※羽田空港-旭川空港までの往復航空券代目安：約 36,000 円（予約変更可、5 月 11 日調べ）</p> <p>※宿泊費：18,000 円</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 事前・事後学習は平日 6 限、土曜などに行います。実施にあたっては事前課題の提出を設定することもありますので、予めご了承ください。夏季休暇中も実施予定ですので、スケジュールの管理は注意してください。 5. 本プログラムと重複する授業等を欠席した際、公欠扱いとはなりません。 6. 未成年者の参加は、保護者の同意書等を提出してもらう場合があります。 7. 選考結果に関する問い合わせには応じることはできません。あらかじめご了承ください。
<p>その他</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大の状況などにより、東川町での体験研修の日程が変更や中止になることもあります。また、東川町では、基本的なコロナ対策を行っています。</p>

【問い合わせ先】

品川キャンパス 6号館 1階

研究推進・地域連携課(品川担当) 担当：小林、阿部

電話：03-3492-8152

E-mail:skenkyu@ris.ac.jp

* 北海道東川町の魅力 *

東川町は、豪雪地帯にある小さな自治体です。町長のリーダーシップのもと、熱意ある創意工夫から、この20年間以上、人口は増加傾向にあり、7000人台から8500人以上に増えています。旭川空港から車で10分と交通に恵まれていることもありますが、地方創生の壮大な社会実験を行っていることで注目され、さまざまなメディアにも取り上げられています。

地方創生の成功は、「選ばれる価値を持った町」を創造することにつきますが、東川町はとくに若い人から選ばれる町となり、移住者が増えています。加えて、全国で唯一の自治体がつくった日本語学校があり、これまで30ヶ国以上から、留学生は常時、300人以上が滞在し、町の文化交流課に在籍する国際交流員など外国人職員も約20人が暮らしています。さらに、さまざまな社会経験を積んだ地域おこし協力隊（2022年日本一）や地域活性化企業人も約50人います。

同町は、美味しい地域ブランド「東川米」の町、写真甲子園で有名な写真の町、家具産業が盛んな町、上水道のない町として知名度はあります。さらに、2022年からは新たに世界的な建築家の隈研吾氏が設計した「サテライトオフィス」が稼働し、2023年には「キトウシ保養施設（仮称）」がオープン、2027年頃には「KAGU デザインミュージアム（仮）」も完成予定で、常に挑戦を続ける町です。学生のみなさんは、この町での体験を通じて、「選ばれる価値を持った町」、「面白い町」とはどのような町かを学び、自己実現を目標とした体験を通して、これから目指す人生や仕事、理想とする未来社会を考えることができます。



参考サイト

- ◆ 東川町公式 PV (YouTube) <https://www.youtube.com/watch?v=daRqXrTAiIM>
- ◆ 映画「写真甲子園 0.5 秒の夏」 <https://www.youtube.com/watch?v=DKUtLgpXvQM>
- ◆ Web には、東川町の情報が数多くありますので、ぜひ、調べてみてください。